

全国安全週間に合わせて、 水戸労働基準監督署長がパトロールを実施

令和3年7月7日

水戸労働基準監督署（署長 小室 順）は、全国安全週間期間中の7月7日に、水戸京成百貨店（各種商品小売業）の安全パトロールを実施しました。

水戸労働基準監督署管内の第3次産業（小売業、飲食店及び社会福祉施設）における死傷災害は、本年5月末現在で87件（速報値）発生しており、前年同期と比較して約4割増加しています。この増加傾向に歯止めをかけるため、パトロールの冒頭、本年4月に改正された「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」のさらなる推進を要請し、小売業で特に災害の多い「かご台車（ロールボックスパレット）」の安全な使用等呼びかけました。



パトロールを行った水戸京成百貨店では、かご台車の使用時の注意事項などをエレベーター前やかご台車の本体に掲示し、「手を離す時は、ストッパーを確実にかける」など5項目の徹底を図っていました。

写真右上は、同社の芹澤社長（左）に「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」の要請を行う小室署長（右）

写真左下は、かご台車の災害防止対策の説明を受ける小室署長（右）